



看護部通信

2021年12月



寒い季節がやってきて、2021年も残すところ、あと少しです。

今年、2020オリンピックは何とか開催され盛り上がりましたが、コロナ禍の影響で、不安を感じたり心が痛むようなニュースが多かった気がします。皆さんにとっては、どんな一年だったでしょうか。

来年、2022年は、ほっとする暖かい話題の多い一年になるといいですね☆☆☆

(看護師長会)

「4病棟に異動になって」

4病棟 J・K

4病棟に異動し、早くも2か月が経ちました。リハビリテーション病棟での勤務は4年ぶりです。師長さんをはじめ、スタッフの方々にフォローしてもらいながら、自分なりに頑張っているところです。脳血管疾患、脊髄損傷、骨折などの患者さんが対象ですが、コ・メディカルスタッフと連携し、問題解決に取り組みながら、ADLの習得、生活の再構築に向けた支持・支援を行っています。

患者さんたちが懸命にリハビリを頑張っている姿、日ごとにADLが向上していくのを見ていると、体力も気力も低下していることを感じつつ、自分もまだまだ頑張らないといけないという気持ちになります。

またこのコロナ禍で、患者さんたちは、ご家族との面会も制限され、特に高齢の患者さん方は、さみしい思いをして入院生活を送られていると思います。少しでも患者さんの気持ちに寄り添いながら、安心感のある看護を心がけて行きたいと思っています。

暖かい看護☆



「うちごはん、で始めたこと」

4病棟 H・K

自宅で過ごす時間が増え、食に関して家族と始めたことが2つあります。

1つ目はお菓子作りです。ホットケーキミックスを使い、混ぜて焼くだけ、といったレシピがほとんどなのですが、休日に子供と一緒に遊び感覚で楽しんでいます。2つ目は七輪を使っての屋外ご飯です。焼き鳥、ソーセージ、焼き芋など、何度も食べているメニューも、炭火で焼くと特別に美味しくなります。後片付けが楽なのも七輪の良いところです。

始める時は、道具は何がいいのか、手順はどうか、と考えすぎてしまったのですが、やってみると美味しいし、レクリエーション感覚で楽しめています。これからも、私生活でも仕事でも、興味をもったことには躊躇しすぎず、取り組んでいきたいと思います。

七輪で焼くとお肉もお魚も、より一層美味しくなりますよね☆

